

令和6年度 信学会若槻こども園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

わくわく どきどき きらりとひかる わかつきっこ

幼児の実態を大切にし、望ましい環境の中での生活体験を通して、人との関わり学ぶ心身の発達と豊かな人間性を持つ子を育てる

2. 本年度の重点目標

- ✿ 自ら考えたり試したりする好奇心旺盛な子
- ✿ のびのびと表現を楽しむ子
- ✿ 優しさと思いやりのある子

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	A
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	B
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	B
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	B
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	B
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・日常の姿を全クラスが写真を使ってまとめて掲示することで園の取り組みや子どもの育ちを共有することができた。
- ・異年齢保育を重視し様々な年齢の子どもたちと生活を共にできること
- ・地域の老人クラブの方と球根を植えるなどの交流会を行った
- ・担任だけでなく園全体で子どもを見てくれるアットホームなところが良い
- ・子どもの探求心を大切にしてくれ、納得するまでやりたいことに時間を費やしてくれること
- ・駐車場が狭くミラーをたたむ、隅に寄せるなど安全管理のルールを徹底してほしい

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・子どもを中心にと捉え、保育室の環境や園庭の環境を工夫し遊びこむ力や探求心を育て日々の保育教育を充実できるよう工夫を凝らした。
- ・日々の保育教育の業務をこなしながらも子どもの『やりたい!』に耳を傾け、心を寄せることが大切だとわかった。次年度も引き続き、子どもの気持ちに保育教諭が寄り添い、どこまで子どもたちの取り組みを大切にしていけることができるかが課題となる